

令和5年度 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和6年3月22日

事業所名：学びの広場じゃんぷ

保護者等数12 回収数10 割合 84%

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	90%	10%	0%	0%		限られた空間ですので、活動に合わせて適切な空間が調整できるよう工夫していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	90%	10%	0%	0%		事業所内外の研修会などにも積極的に参加し専門性や知識を更新していただけるようにしていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	90%	10%	0%	0%		お子さん達が落ち着いて過ごせるよう、環境や構造を見直しながら日々の療育を行っていきます。お気づきのことがあれば、ぜひご意見をお寄せいただければと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	100%	0%	0%	0%		
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で児童発達支援計画が作成されている	100%	0%	0%	0%		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	0%	0%		個別支援計画の面談時には、保護者様からご家庭や地域の様子などをお聞きすることができ、貴重な時間となっております。半年ごとにお子さんの目標を検討し、発達課題に沿った療育ができるようにしていきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%	0%		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	100%	0%	0%	0%		
保護者への説明等	9 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がされている	100%	0%	0%	0%		今後、制度改定もありますので、丁寧な説明を心がけ、よりよい支援が行えるよう努めていきます。
	10 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされている	100%	0%	0%	0%		
	11 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われている	90%	10%	0%	0%		グループ療育では保護者グループを運営させていただいています。計画的なプログラムまでは至っていないところがありますので、より充実できるよう取り組んでいきます。
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができている	100%	0%	0%	0%		
	13 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	100%	0%	0%	0%		
	14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	80%	20%	0%	0%		個別療育の方を中心に、保護者様で集まれる機会を設けています。今後どのような形・内容で保護者様動詞の連携を支援できるのか模索いたします。
15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	90%	10%	0%	10%			

保護者への説明等	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	100%	0%	0%	0%	
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	70%	20%	0%	10%	父母の会のご紹介等、一部玄関先に掲示するなどの方法で紹介はしていますが、十分ではありません。ペアトシや保護者学習会も含め、保護者交流や支援については、今後の検討課題です。
	18	個人情報保護に十分注意している	90%	0%	10%	0%	医療機関の受診について、他の保護者には秘密にしておいてほしかったです。保護者様との間でお子さんの発達や心配事を話せたり、子育てに前向きになれる場や関係がつけられる場となるよう保護者グループを運営しておりますが、個人情報の取り扱いについては、保護者様の合意を得ながら進めて参りたいと思います。
非常時等の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されている	100%	0%	0%	0%	HPを作成していますが、所内で積極にご紹介できていないかもしれません。連絡は主にLINEの公式アカウントを使用しています。SNSを活用するなど、保護者様が利用しやすい方法を模索したいと思います。
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	100%	0%	0%	0%	今年度、初めて療育の時間帯で実施させていただきました。年齢によっては難しいクラスもありますが、災害の発生に備えた取り組みを引き続き行いたいと思います。
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしている	100%	0%	0%	0%	
	22	事業所の支援に満足している	100%	0%	0%	0%	今後も引き続き、保護者様とともにお子さんにとって必要なよいサービスが提供できるよう歩んで参りたいと思います。

※10%以上増減のあったものに赤色矢印、80%未満で改善されていないものに赤色四角印をつけました。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

R6年2月より、児童発達支援事業と放課後等デイサービス事業は分離していますが、アンケートはR5年11月に多機能型事業所として配布・集計したものです。現状とそぐわない点があるかと思いますが、ご理解・ご了承をお願いいたします。

令和5年度 放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和6年3月22日

事業所名：学びの広場じゃんぱ

保護者等数21 回収20 割合 95%

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	80%	5%	5%	10%	もう少し広いほうがよいです。	限りがある空間ですが、状況や様子に応じて空間を仕切ったりスペースを作るなどしています。今後も、お子さんたちが落ち着いて活動ができるよう見直しをしながら適切な場所や空間となるようにしていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	90%	0%	0%	10%	学習に関してどこに困りがあるのかのアセスメントをしっかりといただけています。	
	3 事業所の設備は、スロープや手すりの設置などバリアフリー配慮がなされている	90%	0%	0%	10%		
切な支援の提	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されている	100%	0%	0%	0%	個別支援計画の説明が丁寧でわかりやすく説明していただきました。	
	5 活動プログラム*が固定化しないよう工夫されている	80%	10%	5%	5%		
	6 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がされている	90%	5%	0%	5%		
保護者への説明等	7 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができている	90%	5%	0%	5%	送迎時にしっかり話し合える時間が持てることで安心できます。	送迎に来ることが難しい保護者様とは、面談や公式LINEなども活用しながら、日々のお子さんの様子や保護者様の困りごとなどを共有させていただいています。今後も保護者様や関係者様とのやりとりも大事にしなが、お子さん達と向き合っていきたいと思ひます。
	8 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	90%	5%	0%	5%	いつも相談にのって下さり、感謝しています。	
	9 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	60%	10%	0%	30%	苦情は特にありません。	気になることがあれば、気兼ねなくご連絡ください。やりとりをしながら、必要なことは改善に努めます。
	10 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	90%	5%	0%	5%		
	11 定期的に会報やホームページ等で、活動や業務の情報を子どもや保護者に発信している	75%	15%	0%	10%	Instagramで様子が知られて嬉しいです。	今年度はInstagramを始めました。昨年度は68%の方が『わからない』と回答されていたので、少しお子さんの様子が見えやすくなったのかと思います。
	12 個人情報保護に十分注意しているか	65%	10%	5%	20%		注意して個人情報保護に努めておりますが、お気づきの点は気兼ねなくご連絡ください。
非常時等の対応	13 緊急時等の対応マニュアルを保護者に周知・説明している	75%	5%	0%	20%		
	14 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	90%	5%	0%	5%		
満足度	15 子どもは通所を楽しみにしている	65%	25%	5%	5%	学習以外の楽しみもあるようで嫌がらずに通所できています。電車通所も自信になっているようです。楽しみに通っていたので、体制が変わってしまうのは残念ですが、楽しく通える場所になるよう期待します。	学校が終わってからさらに学習をすることに少し抵抗があったり、学校のお友達と遊びたい気持ちが強くなり、通所を面倒に思うお子さんもおられました。保護者様には送り出しなど、日々ご協力をいただき感謝しております。今後も少しでも意欲的に通所できるよう、学習の進め方、それ以外の活動の取り組み方など、工夫をしながら支援を考えていきます。
	16 事業所の支援に満足している	100%	0%	0%	0%	支援内容には大変感謝しています。送迎が仕事の両立と難しく、今後検討していただけたらとさらにありがたいです。	お子さん達にとって重要な『学習』が少しでもわかり、おもしろいと感じる機会ができるよう、今後も専門性を高めながらよりよい支援ができるよう努めてまいります。

*10%以上増減のあったものに赤色矢印、80%未満で改善されていないものに赤色四角印をつけました。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

R6年2月より、児童発達支援事業と放課後等デイサービス事業は分離していますが、アンケートはR5年11月に多機能型事業所として配布・集計したものです。現状とそぐわない点があるかと思いますが、ご理解・ご了承をお願いいたします。

令和5年度 児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表：令和6年3月22日

人数：正規4非常勤3 回収4 割合57%

事業所名：学びの広場じゃんぷ

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	75%	25%		もう少し自由裁量のある空間配置があればよいと思います。	これまでは、児童と放デイで共有しなければならないことがあり、改善が難しかったところもあります。今後はそれぞれの事業を展開する上で、工夫や改善ができる空間を作っていければと思います。
	2 職員の配置数は適切である	75%		25%	幅広い年齢層の支援に対応しないといけないため、準備をする量・スピードが多いです。	少人数の職場なため、個人の力量にかかる負担が大きかったり、お子さんの年齢層等に幅があり、支援の難しさがあつたと感じます。ICT機器の活用も検討しながら、支援の質を落とさず、どの職員でも指導に関われるような環境づくりの検討・準備をしていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	75%		25%	ワンフロアなため情報（視覚・聴覚）の制限・調整が難しいです。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%				
	5 アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%				毎年年に1度アンケートを実施させていただき、業務や支援改善に反映させていただいています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%				法人のHPにて公開しています。今年度は多機能型事業所 学びの広場じゃんぷとして集計させていただいたものです。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%				
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%			月1回、法人内の事業所合同のリモート会議を行い、実践報告等を行っています。	就学前・小学校・中学校の相互の研修があると効果的かもしれません。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を分析した上で個別支援計画を作成している	100%			個別アセスメントを実施し、指導方針や計画立案を行っています。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	75%	25%			保護者のニーズも含めて、必要なお子さんには標準化されたツールを使用しています。日常的な活動や保護者様からのお話しをもとにインフォーマルなアセスメントも常に行っています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	75%	25%		チームで共有しながら活動を組み立てていますが、個別の担当者にかかる比重が大きいです。	事業所内だけでなく、法人内の研修・会議でも意見やアドバイスを交換しながら支援に反映しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%			プログラムは個別的に、または同じ時間に活動するお子さん達にあつた活動を設定しています。毎回変わるものと継続するものの両方の活動があります。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%			学校の長期休業等の前後では宿題の有無や量が普段と異なることがありますが、そのような状況にも合わせて、お子様たちが来所を楽しみにできるように活動設定をしています。	
	14 子どもに応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	100%				
	15 職員間でその日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%				
	16 職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%				日々の話題の中で共有されていますが、機会としてはきちんと設けられていないので、必要な情報が共有できるよう検討していきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	75%	25%		毎日の記録を残す時間が取りにくいですが、一人一人の記録は時系列で整理し記録しています。	
	18 定期的な事後評価を行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	100%			概ね半年で振り返りの面談を設定しています。	
19 療育・創作・交流・余暇支援の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	100%			学習支援中心の利用者に対して、利用者間で交流したり療育的な取り組みを行ったりするプログラムを組み込んでいます。		

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に最もふさわしい者が参画している	100%			基本的には管理者(心理・教育有資格者)が出席しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画、行事予定などの交換等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	↑100%			学校との情報共有は保護者を通じて行っていますが、保護者と相談員の了承があれば直接連携を取ったり、連携の会議に出席させていただく場合もあります。	
	22 就学前に利用していた事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	75%	25%			
	23 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関の助言や研修を受けている	50%	50%			乙訓地域には児童発達支援センターがありませんが、今後、地域とどのように連携し、専門性や支援の質を高めていけるのかは、地域の動向を見ながら検討が必要です。
	24 日常的に保護者と子どもの発達の状況や課題について共通理解を図っている	100%			放デイの場合、日々の送迎時の保護者対応などで一人一人の課題について共有したりお話しすることが有効でした。	
	25 子育て支援として、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	↑75%		25%	ペアレント・トレーニングは実施していませんが、こどもへの関わり方については、日頃の保護者グループの中で保護者同士の意見交換とともに、職員からも助言するなどして、また繰り返し話題にすることで対応しています。	
	26 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%				
	27 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%			児発は保護者同席の療育形態であるため、話す機会が多いです。放デイは保護者送迎の際に、対応させていただくことが多いです。	
	28 子どもや保護者からの苦情について、迅速かつ適切に対応している	100%				
29 定期的に会報等を発行し、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	↑100%			今年度はインスタグラムを始めました。見ていただけている方もおられますが、職員の負担も少し増えました。	発信の方法について、職員の業務負担と支援・サービスの向上とのバランスを見ながら検討が必要だと感じます。	
保護者への 説明責任等	30 個人情報に十分注意している	100%				
	31 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%			日々の利用や保護者送迎の機会に行っている。また半年に一度保護者面談を行っている。	
	32 緊急時対応、防犯、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	↑75%	25%			開所から数年が経過したこともあり、再度マニュアルの見直しと周知が必要だと感じています。
	33 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%				
	34 事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこども状態を確認している	100%			服薬状況などを担当者が確認していますが、記録や共有の仕方が統一されていません。	記録の仕方や共有の仕方について検討し、利用者の健康が守られるよう努めます。
	35 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	↑100%			該当するような利用者がいませんが、虐待防止に関する必要な知識を事業所で共有しています。	
	36 身体拘束について、保護者に事前に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している	↑75%		25%		
非常時等の 対応	37 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	↑100%			マニュアルはそれぞれ設置しており、いつでも閲覧できる状態にしている。	
	38 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	↑75%		25%		ヒヤリハットの共有や対応の改善をし、より適切な環境や支援につなげていきます。

令和5年度自己評価と保護者評価について 第3者意見

評価日 : 令和6年3月20日

第3者評価者名 : 葉狩里美

事業所名 : 学びの広場じゃんぷ

区分	評価	助言
環境・体制整備	限られた環境の中で、様々な支援に対応できるスペースづくりを工夫されていると思います。幅広い年齢層の支援に対応しなければならず、少人数のスタッフには負担が大きかったのではないかと思います。	これまでは、児発と放デイで共有共有しなければならず、改善が難しかったと思います。今後、それぞれの事業を展開しながら、工夫改善ができる空間や環境を作ってもらえることを期待します。
適切な支援の提供	学習支援中心の利用者に対しても、利用者間で交流したり療育的な取組をするプログラムを組み込むなど工夫されていることがうかがえます。個別の支援計画の面談時に、家庭、地域での様子を保護者からうかがいつつ、半年ごとに目標を検討することができています。	友達と遊びたいし、学習することに抵抗を示す姿があるにもかかわらず、保護者と連携しながら、子どもたちが来所を楽しみにできる活動を展開されていることに敬意を表します。学習が分かっていることが面白いと感じられるように研修をさらに進めていただけるよう期待しています。
保護者への説明等	子どもたちの様子が分かるようにInstagramを使って保護者と共有されていることはよかったです。送迎時に日々の子どもの様子や保護者の困りごとを共有され、信頼をされていることはとてもいいと考えます。	家庭との連携を丁寧に図れていることは大切です。制度改正に伴い、体制が変わってしまったことは残念です。今後も丁寧な説明をし、より良い支援がされることを期待しています。
その他		